



子供たち 先生方の笑顔のために

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和5年2月22日発行

第27号

中信教育事務所



ご意見はこちら→

←過去の「共に歩まん」はこちら

自分の足跡を振り返り, 次の一步を踏み出す先生たち

初任者研修2年次プログレス研修&1年次プログレス研修

1月24日(火)に, 今年度の初任者研修のまとめとなる「2年次プログレス研修」を, 1月31日(火)に「1年次プログレス研修」を行いました。自己課題に対して取り組んだ実践をポスターにまとめ, グループごとに語り合いました。

【1年次】

研修を共に重ねてきた仲間だからこそ, 語りたくなる。思いを受け止めたくなる。



持参したポスターを用いて子供の姿を語る

1年間の研修を通して, 自分と同じように悩みながらも挑戦している仲間がいると思えて心が軽くなり, 来年度への決意がもてました。

学校は違って子供たちのために考えることは同じなんだと思った。「あの子ならこう考えるだろう」と子供の様子が浮かんでくる取り組みを大事にしていきたい。

違う校種、違う教科の先生にも伝わるよう、丁寧に語る。自分の一年間を再構成しながら、次の一步のイメージが膨らむ。

【2年次】

久しぶりの再会。互いの成長に心地よい刺激を受けながら, 認め合い, 語り合う。

養護学校の先生が語っていた「その子供の『好き』や『得意』を見つけて, 専念できるようにする」といった取組は, 校種は違えど, 今後の自分の授業でもいかせると思いました。

日々忙しく, 振り返ることがあまりできていなかったため, 今回の研修の中で「こんなことを頑張ったんだ」「成長したな」と自分を認めることができ, よい機会になりました。



実際の教材を用いて授業の様子を語る

上の感想の他にも「支えていただいた校内の先生方への感謝」を書いていた先生方がいたんだ。初任の先生方が自己課題に挑戦し, 学び続けることができた背景には, 校内のすべての先生方の支えがあったことを感じた研修だったよ。

教師自身が“自立した学び手”であることの重要性は初任の先生方に限らないよね。年度末という節目の時期。自分の実践を子供の姿を通してしっかりと振り返り, 新たな決意をもって新年度を迎えよう。

